訪問リハビリテーション部 芯会ジャ

創刊によせて

訪問リハビリテーション部 部長 OT 馬場博文



日頃よりライフクリニックの活動に関して、御理解・御支援並びに御協力を賜 り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

当院は、2016年に訪問リハビリテーション部を開設し、2025年で丸9年を迎え、 10年目に突入致しました。訪問リハビリテーション部は2025年4月1日現在、理 学療法士(PT)21名・作業療法士(OT)13名・言語聴覚士(ST)2名の計36名のリハ ビリテーション専門職に加え、リハビリテーション医(非常勤)8名・リハビリ テーション部事務/ドライバー3名の計47名体制で、墨田区・江東区・中央区・ 台東区を中心に訪問リハビリテーションや地域事業等をご提供しております。

当院は「暮らしに寄り添い、カラダとココロにシアワセを届ける在宅クリニック」として、地域の 皆様の「かけがえのない暮らし」を支えていけるよう日々努めております。介護保険・医療保険での 訪問リハビリテーションでは、ご自宅にお伺いをして、身体能力や環境に合わせて、「その人らしい 生活」ができるよう、ご支援をさせて頂いております。また、地域の各機関と連携した事業活動も 様々行っており、この広報誌を通して、地域の皆さまに当院の活動の一部をご紹介させていただけれ ばと考えております。

最後になりましたが、2024年度には総利用者様も500名に 迫っている中ですが、訪問リハビリテーションという特性も あり、担当スタッフを除いて当院とご利用者・ご家族・関係 機関の繋ぐ情報ツールが少ない状況もあったかと思います。 その中で、本年より広報誌『健芯会ジャーナル』を定期発行 することとなり、この広報誌が当院とご利用者・ご家族、関 係機関の皆さまを繋ぐ「架け橋」として、お役に立てば幸い です。



訪問リハビリテーションでこんなこと行っています!

江東リハ課 課長 OT 萩原由佳

身体と心

のサポート

定期的な運動

■個人に合わせ<u>た</u> 運動メニューの作成

身体の節々の痛み

■身体の不調に対する 評価・治療

前向きな考え方

■精神的な不安に対する助言

生活

のサポート

日常生活動作

■日常生活に必要な動作の練習

家事や趣味活動

■メリハリのある生活を提案

外出

■移動手段の検討・実践

のサポート

福祉用具の選び方

■装具・福祉用具・自助具の相談

介護負担の軽減

■介護・介助方法の助言

地域活動への参加

■地域との交流の機会を検討

▶ 3つの側面を柱に、利用者様がどのような生活を望まれているかを伺いながら、 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がその方に適したリハビリメニューを実施しております!

"連携"で変える地域の未来

当院では訪問リハビリテーション以外に地域の皆様への健康・介護予防の普及または啓発を目的とした取り組みがございます。今回はその中の1つ、地域の通所介護(デイサービス)と連携した取り組み「生活機能向上連携加算」についてご紹介します。

生活機能向上連携加算とは介護保険制度を活用し、ご利用者様の生活機能の向上や重度化防止を目指してリハビリ専門職(理学療法士、作業療法士など)が介護施設や事業所に訪問し、介護事業所の職員と共同して機能訓練計画を作成することでご利用者様が可能な限り自立した生活を送れるように支援する制度です。

当院では、株式会社ヤマウチ様が運営されているデイサービス(ジョイリハ様)へ伺い、ご利用者様がいつまでも健康で安心して暮らせるよう連携を強化して参ります。

墨田リハ課 課長 PT 宮澤義明





地域の皆様が健康で安心して暮らせる ようお手伝いいたします。

~墨田区後援~理学療法士が教える!子どもの運動教室!





事業リハ課 係長 PT 高石知洋



当院では、お子様の健康増進を図った取り組みも実施しており、

墨田区後援の下で実施している「幼児・児童向けの運動教室」を今回はご紹介! 子どもの運動不足による身体能力の低下が危惧されており、中でも「走る力」「投げる力」の低下については、特に問題視されています。そこで、幼児〜児童を対象に身体能力の向上やケガを予防のための体づくりを目的とした取り組みを始めました。

2023年頃から開催し、多い時は定員の2倍近いお申込みがあります!

4月以降も幼児部(年少~年長)、児童部(小学1年生~2年生)を 月に2回開催予定となっておりますので、

ご興味ある方はQRコードからお申込みください!

一緒に楽しく運動しましょう!





お申し込みフォーム⇒ 幼児部

児童部

